

音楽科 7学年 評価計画

内容のまとめり・単元／観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
目標				
<p>【表現 歌唱】歌う楽しさを味わおう「校歌」</p> <p>【表現 歌唱】日本やアジアの民謡のよさを味わおう～「江戸の鳶木遣り」他、アジアの民謡</p> <p>【表現 歌唱】心を合わせて合唱しよう「(合唱コン課題曲)」「(合唱コンクラス曲)」</p> <p>【表現 歌唱】情景を思い浮かべながら歌おう～「赤とんぼ」「浜辺の歌」</p> <p>【表現 歌唱】心を合わせて合唱しよう「(卒業式合唱)」</p>	<p>〈知識〉 (ア) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解する。 (イ) 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりを理解する。</p> <p>〈技能〉 (ア) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 (イ) 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。</p>	<p>歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。</p>	<p>主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>	
	評価規準			
	<p>〈知識〉 (ア) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している。 (イ) 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりを理解している。</p> <p>〈技能〉 (ア) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 (イ) 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けている。</p>	<p>音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>〇〇に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>	
	評価方法			
・観察・ワーク・ワークシート・実技テスト・定期考査	・観察・ワーク・ワークシート・定期考査	・観察・ワーク・ワークシート・定期考査	・観察・ワーク・ワークシート	
目標				
<p>【表現 器楽】和太鼓に親しもう「風にのって」</p>	<p>〈知識〉 (ア) 曲想と音楽の構造との関わりを理解する。 (イ) 楽器の音色や響きと奏法との関わりを理解する。</p> <p>〈技能〉 (ア) 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付ける。 (イ) 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付ける。</p>	<p>器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する。</p>	<p>主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>	
	評価規準			
	<p>〈知識〉 (ア) 曲想と音楽の構造との関わりを理解している。 (イ) 声の音色や響きと奏法との関わりを理解している。</p> <p>〈技能〉 (ア) 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 (イ) 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。</p>	<p>音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>〇〇に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>	
	評価方法			
・観察・ワーク・ワークシート・実技テスト・定期考査	・観察・ワーク・ワークシート・定期考査	・観察・ワーク・ワークシート・定期考査	・観察・ワーク・ワークシート	

【表現 創作】和太鼓に親しもう「風にのって」	目標		
	<p>〈知識〉 (ア) 音のつながり方の特徴を表したいイメージと関わらせて理解する。 (イ) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴を表したいイメージと関わらせて理解する。</p> <p>〈技能〉 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付ける。</p>	<p>創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する。</p>	<p>主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>
	評価規準		
	<p>〈知識〉 (ア) 音のつながり方の特徴を表したいイメージと関わらせて理解している。 (イ) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴を表したいイメージと関わらせて理解している。</p> <p>〈技能〉 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けている。</p>	<p>音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>〇〇に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。</p>
評価方法			
・観察・ワーク・ワークシート・実技テスト・定期考査	・観察・ワーク・ワークシート・定期考査	・観察・ワーク・ワークシート	
<p>【鑑賞】 日本やアジアの民謡のよさを味わおう～「江戸の鳶木遣り」他、アジアの民謡</p> <p>【鑑賞】 日本の伝統音楽のよさを味わおう～「六段の調」</p> <p>【鑑賞】 アジア地域の諸民族の音楽の多様性を理解しよう</p> <p>【鑑賞】 ソネットと音楽との関わりを感じ取ろう～「春～四季より～」</p> <p>【鑑賞】 詩と音楽との関わりを感じ取ろう～「魔王」</p>	目標		
	<p>〈知識〉 (ア) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 (イ) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解する。 (ウ) 我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。</p>	<p>(ア) 曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 (イ) 生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 (ウ) 音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p>	<p>主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>
	評価規準		
	<p>〈知識〉 (ア) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 (イ) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 (ウ) 我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。</p>	<p>(ア) 曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 (イ) 生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 (ウ) 音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p>	<p>〇〇に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
評価方法			
・観察・ワーク・ワークシート・定期考査	・観察・ワーク・ワークシート・定期考査	・観察・ワーク・ワークシート	

音楽科 8学年 評価計画

内容のまとめり・単元／観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>【表現 歌唱】合唱の楽しさを味わおう「夢の世界を」 【表現 歌唱】心を合わせて合唱しよう「時の旅人」「(合唱コンクラス曲)」 【表現 歌唱】歌舞伎とオペラのそれぞれのよさを味わおう～歌舞伎「勧進帳」オペラ「アイダ」 【表現 歌唱】情景を思い浮かべながら歌おう～「夏の思い出」 【表現 歌唱】心を合わせて合唱しよう「(卒業式合唱)」</p>	目標		
	<p>〈知識〉 (ア) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりを理解する。 (イ) 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりを理解する。 〈技能〉 (ア) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 (イ) 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。</p>	<p>歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。</p>	<p>主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>
	評価規準		
	<p>〈知識〉 (ア) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりを理解している。 (イ) 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりを理解している。 〈技能〉 (ア) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 (イ) 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けている。</p>	<p>音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>〇〇に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	評価方法		
<p>・観察・ワーク・ワークシート・実技テスト・定期考査</p>	<p>・観察・ワーク・ワークシート・定期考査</p>	<p>・観察・ワーク・ワークシート</p>	
<p>【表現 器楽】構成を工夫して作曲しよう(キーボード)</p>	目標		
	<p>〈知識〉 (ア) 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりを理解する。 (イ) 楽器の音色や響きと奏法との関わりを理解する。 〈技能〉 (ア) 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付ける。 (イ) 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付ける。</p>	<p>器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する。</p>	<p>主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>
	評価規準		
	<p>〈知識〉 (ア) 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりを理解している。 (イ) 声の音色や響きと奏法との関わりを理解している。 〈技能〉 (ア) 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 (イ) 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。</p>	<p>音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>〇〇に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	評価方法		
<p>・観察・ワーク・ワークシート・実技テスト・定期考査</p>	<p>・観察・ワーク・ワークシート・定期考査</p>	<p>・観察・ワーク・ワークシート</p>	

【表現 創作】構成を工夫して作曲しよう	目標		
	<p>〈知識〉 (ア) 音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴を表したいイメージと関わらせて理解する。 (イ) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴を、表したいイメージと関わらせて理解する。</p> <p>〈技能〉 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付ける。</p>	<p>創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する。</p>	<p>主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>
	評価規準		
	<p>〈知識〉 (ア) 音のつながり方の特徴を表したいイメージと関わらせて理解している。 (イ) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴を表したいイメージと関わらせて理解している。</p> <p>〈技能〉 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けている。</p>	<p>音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>〇〇に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組みようとしている。</p>
	評価方法		
・観察・ワーク・ワークシート・実技テスト・定期考査	・観察・ワーク・ワークシート・定期考査	・観察・ワーク・ワークシート	
【鑑賞】 曲の構成に注目してよさを味わおう「交響曲第5番」 【鑑賞】 【表現 歌唱】歌舞伎とオペラのそれぞれのよさを味わおう～歌舞伎「勸進帳」オペラ「アイーダ」	目標		
	<p>〈知識〉 (ア) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 (イ) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解する。 (ウ) 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。</p>	<p>(ア) 曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 (イ) 生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 (ウ) 音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p>	<p>主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>
	評価規準		
	<p>〈知識〉 (ア) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 (イ) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 (ウ) 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。</p>	<p>(ア) 曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 (イ) 生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 (ウ) 音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p>	<p>〇〇に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組みようとしている。</p>
	評価方法		
・観察・ワーク・ワークシート・定期考査	・観察・ワーク・ワークシート・定期考査	・観察・ワーク・ワークシート	

音楽科 9学年 評価計画

内容のまとめり・単元／観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>【表現 歌唱】 情景を思い浮かべながら歌おう～「花」 【表現 歌唱】言葉の特性を感じ取りながら歌おう～「帰れソレントへ」 【表現 歌唱】心を合わせて合唱しよう 「大地讃頌」「(合唱コンクラス曲)」 【表現 歌唱】様々な音楽の特を理解してよさを味わおう～能「羽衣」 【表現 歌唱】心を合わせて合唱しよう 「(卒業式合唱)」</p>	目標		
	<p>〈知識〉 (ア) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりを理解する。 (イ) 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりを理解する。 〈技能〉 (ア) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 (イ) 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。</p>	<p>歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。</p>	<p>主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組む、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>
	評価規準		
	<p>〈知識〉 (ア) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりを理解している。 (イ) 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりを理解している。 〈技能〉 (ア) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 (イ) 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付けている。</p>	<p>音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>〇〇に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	評価方法		
<p>・観察・ワーク・ワークシート・実技テスト・定期考査</p>	<p>・観察・ワーク・ワークシート・定期考査</p>	<p>・観察・ワーク・ワークシート</p>	
<p>【表現 器楽】アンサンブルを楽しもう ギター、カホン「イエローサブマリン」 【表現 器楽】構成を工夫して作曲しよう (キーボード)</p>	目標		
	<p>〈知識〉 (ア) 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりを理解する。 (イ) 楽器の音色や響きと奏法との関わりを理解する。 〈技能〉 (ア) 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付ける。 (イ) 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付ける。</p>	<p>器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する。</p>	<p>主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組む、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>
	評価規準		
	<p>〈知識〉 (ア) 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりを理解している。 (イ) 声の音色や響きと奏法との関わりを理解している。 〈技能〉 (ア) 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 (イ) 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。</p>	<p>音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>〇〇に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	評価方法		
<p>・観察・ワーク・ワークシート・実技テスト・定期考査</p>	<p>・観察・ワーク・ワークシート・定期考査</p>	<p>・観察・ワーク・ワークシート</p>	

【表現 創作】構成を工夫して作曲しよう	目標		
	<p>〈知識〉 (ア) 音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴を表したいイメージと関わらせて理解する。 (イ) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴を、表したいイメージと関わらせて理解する。</p> <p>〈技能〉 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付ける。</p>	<p>創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある創作表現を創意工夫する。</p>	<p>主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組む、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>
	評価規準		
	<p>〈知識〉 (ア) 音のつながり方の特徴を表したいイメージと関わらせて理解している。 (イ) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴を表したいイメージと関わらせて理解している。</p> <p>〈技能〉 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けている。</p>	<p>音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>〇〇に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	評価方法		
・観察・ワーク・ワークシート・実技テスト・定期考査	・観察・ワーク・ワークシート・定期考査	・観察・ワーク・ワークシート	
【鑑賞】 作曲者の思いを感じ取りながら聴こう～「ブルタバ」 【鑑賞】 日本の伝統音楽のよさを味わおう～雅楽「越天楽」 【鑑賞】 様々な音楽の特を理解してよさを味わおう～能「羽衣」	目標		
	<p>〈知識〉 (ア) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 (イ) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解する。 (ウ) 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。</p>	<p>(ア) 曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 (イ) 生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 (ウ) 音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p>	<p>主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組む、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>
	評価規準		
	<p>〈知識〉 (ア) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 (イ) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 (ウ) 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。</p>	<p>(ア) 曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 (イ) 生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 (ウ) 音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p>	<p>〇〇に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	評価方法		
・観察・ワーク・ワークシート・定期考査	・観察・ワーク・ワークシート・定期考査	・観察・ワーク・ワークシート	